



悩まなくなる話



目次

はじめに	3
物質の成り立ち	3
反粒子ってなに?	3
素粒子の組み合わせ	3
素粒子の組み合わせから噴出した疑問	4
疑問への回答	4
モノはどうして出来上がったのか	4
なぜモノは壊れるの?	5
さいごに	5

はじめに

これは長い話である。また、導入部分である本セクションから「読みにくい」といった印象を受けるかもしれないです。ですから、ここで「うざい」と思った人は、PDF を閉じることをお勧めします。ですが、「何かの役に立つかも！」と少しでも考えられた方であれば、最後までがんばって読んでみてください。

物質の成り立ち

ある物質を細分化して行って、最後にたどり着く最小の物質とは何だろう？

その前に、陰と陽、北と南、男と女、右と左、S と M、、つまり、この世の中は 2 つの大きな基準によって大別ができることを前提として書いておきます。

何らかの粒になることは容易に想像できますね、それを素粒子と呼ばれるものです。宇宙の始まりであるとされる「ビッグバン」では、この素粒子とともに「反粒子」というものも同じ数だけ生まれたといわれています。

反粒子ってなに？

対象物とまったく正反対の性質を持つモノ。つまり、プラスであればマイナス、北であれば南、といったようなモノとなります。

素粒子の組み合わせ

現代科学では、原子核の中に素粒子がいくつか含まれていることが明らかにされている。この素粒子はクォークと呼ばれるもので、プラスかマイナスの電荷を持っていることになっています。前段で言及したとおり、クォークも 2 つの大きな基準によってプラスかマイナス、どちらかの電荷を持つとても小さな粒であります。

いまのところ、クォークの組み合わせについてですが、なんと 3 つセットでひとつの原子核に込められていることが確認されています。

素粒子の組み合わせから噴出した疑問

3つでひとつを構成しているということは、プラスとプラスとマイナス、プラスとマイナスとマイナス、という2種類の組み合わせを持つことになります。プラスとマイナスという1対ではなく、もうひとつプラスかマイナスの電荷を持つ粒により構成されていることになるわけです。

これは、非常に大きな疑問を呼び起こします。

安定していないことにならないか？

疑問への回答

安定していないことにならないか？

これが不思議なことに、安定していないにも関わらず不安定を保ちつつ存在しているわけなんです。そして、モノが創造した経緯がここから推測されます。

モノはどうして出来上がったのか

この世に真空が存在する仮定し、その真空を作り出した過程を考えると、プラスとマイナスの粒がぶつかりあって、おのこの持つ電荷パワーによって打ち消された状態が真空と定義できると思います。つまり、無限な空間になにもない状態(=真空)が先にあったわけではなく、プラスおよびマイナスの電荷を帯びた何かが先に存在し真空が作られた、という考え方です。

プラスとマイナスの電荷を持つ素粒子による無限のぶつかりあい(=崩壊)が無限に繰り返される過程において、自分の対となる素粒子を見つけられない素粒子が残った状態、すなわちこれがモノが創造された経緯と考えられています。

つまり、ここでは「打ち消すことができなかった」=「不安定な状態」=「モノが存在する」という考え方が成り立ちます。

なぜモノは壊れるの？

以上のように、モノを構成する要素、モノの創造の経緯を鑑みると、今存在する物質世界、それに付随してできた社会は不安定だからこそ存在するものと推察できるわけです。そして、未だ出会えていない相方を見つけるために存在し続けているのです。

モノには必ずまったく正反対の性質を持つモノ（＝反物質）がどこかに存在していることは前段で述べたとおりです。ですからモノもモノの一生に一度、それに出会うときが必ずあります、それに出会った瞬間、モノとしての形態を留めることができなくなります。つまりこれは「崩壊」を意味することであり、「モノが壊れる理由」についての解となるわけであります。

人間についても同様なことがいえます。一生に一度、まったく自分と正反対な性質を持つ自分に出会うとき、それは「死」を意味します。

さいごに

以上踏まえると、世の中の存在は不安定だからこそ存在するわけであり、悩みの状態を不安定な状態と定義すれば、さまざまな悩みが噴出する我々の”不安定”な精神状態は、世の中の成立過程を鑑みると至極一般的なことなであることが理解できる。

ですから、「なぜ悩むのだろう」と思ったら「それは存在するから」と考えるようにすれば、そうそう悩みも少なくなり、そのうちあまりにもそのなやみが宇宙規模の成立過程を意識する思考が定着すればするほど「ちっぽけ」に思えてきて、ついには「悩まなくなる」ということにつながります。